乳児の気質：月齢による母親の認識の違い

「気質的扱いにくさ」に関与する気質 3 次元とエフォートフルコントロールに関して

○水野里恵¹・小島康生¹・富貴田智子²・矢野円郁³・塚田みちる⁴

(¹ 中京大学心理学部・² ひらしば幼稚園・³ 名古屋女子大学・⁴ 神戸女子短期大学)

キーワード：乳児、気質、母親の認識

Mothers' perception of infants' temperament: concerning for children's age

Rie MIZUNO¹, Yasuo KOJIMA¹, Tomoko FUKITA², Madoka YANO³, and Michiru TSUKADA⁴

(¹Chukyo University, ²Hirashiba Kindergarten, ³Nagoya Women's University, ⁴Kobe Women's Junior College)

Key Words: infant, temperament, mothers' perception

目 的

結 果

本研究の目的は、発達初期の子どもの気質に対する母親の認識について報告することにある。本研究で扱う気質次元は、「気分の質」「接近と回避」「順応性」「エフォートフル・コントロール」の 4 次元である。

「気分の質」「接近と回避」「順応性」は、母親の子どもへの関わり方に影響を与える「気質的扱いにくさ(difficult children)」の主要 3 次元であり、母親への支援・臨床的介入法を考える場合に重要な気質次元である。また、「接近と回避」「エフォートフル・コントロール」は、子どもの制御行動に係る気質として注目され、以下の仮説検証のため、研究が進行中の気質次元である。その仮説とは、子どもの制御行動は実行機能の関与する制御行動とより反応的・情動的な制御行動とに区分できるとの仮説(Rothbart & Bates, 2006; Eisenberg & Spinrad, 2004)である。

前頭連合野の働きと関連した気質的個人差と考えられている「エフォートフル・コントロール」は、脳の機能的発達に伴い、乳幼児期において発達を遂げる(Posner & Rothbart, 2007)。また、養育者の子どもへの関わり方によって「エフォートフル・コントロール」の発達が促進される可能性も示されている(Feldman & Klein, 2003)。一方、「接近と回避」で測定される「行動的抑制傾向」は扁桃体の機能差と関連しており、乳幼児期から比較的安定した気質的個人差と考えられている。このように、「エフォートフル・コントロール」は月齢に伴う発達が見られる気質であり、「接近と回避(行動的抑制傾向)」は人見知り が成立した後は比較的安定した気質と推察される。こうした子どもの気質は母親にどのように認識されているのだろうか。それを明らかにするのが本研究の目的である。

方 法

A 市の 5 区の住民基本台帳から無作為抽出した 500 名の第一子の家庭に質問紙を送付し、267 名から回答が得られた。本研究では、性別・月齢・気質質問項目に有効回答の得られた 249 名を分析対象にした。本質問紙調査で用いた気質次元は、ITQ-R から「気分の質」「接近と回避」「順応性」、IBQ-R 短縮版から「エフォートフル・コントロール」である。

本研究は平成 23 年度科学研究費補助金(基盤研究(B): 課題番号 21330156) による助成を受けた。

気質次元尺度の α 係数は、気分の質:. 58、接近と回避:. 77、順応性:. 65、エフォートフル・コントロール:. 74 であった。子どもを月齢によって 3 グループに分け、男女別に気質尺度得点の平均値を求めた結果を表に記した。月齢×性別の多変量分散分析を行ったところ、接近と回避については性別の主効果($F(1, 243)=7.75$, $p<.01$)、気質 4 次元すべてについて月齢の主効果(気分の質: $F(2, 243)=4.92$, $p<.01$ 、接近と回避: $F(2, 243)=6.88$, $p<.01$ 、順応性: $F(2, 243)=8.75$, $p<.001$ 、エフォートフル・コントロール: $F(2, 243)=5.03$, $p<.01$)が見られた。下位検定の結果、5-8 ヶ月齢児の気分の質・接近と回避・順応性が他の月齢群の児のそれらより低いこと($p<.05$)、エフォートフル・コントロールは高いこと($p<.05$)がわかった。

考 察

5-8 ヶ月齢児は「気質的扱いにくさ」の判定基準となる 3 次元の気質尺度得点が高他の月齢児より低くなったことから、5-8 ヶ月齢児の母親は子どもが気質的に扱いやすいと捉えていると考察される。また、エフォートフル・コントロールは高いと捉えていた。このような子どもの月齢による母親の認識の違いは、脳機能の個人差・発達過程の知見と一致する部分・一致しない部分双方があり、今後の検討が望まれる。

引用文献

- Eisenberg, N. & Spinrad, T. L. (2004). Emotion-related regulation: Sharpening the definition. *Child Development*, 75, 334-339.
- Feldman, R. & Klein, P.S. (2003). Toddlers' self-regulated compliance to mothers, caregivers, and fathers: Implications for theories of socialization. *Developmental Psychology*, 39, 680-692.
- Posner, M. & Rothbart M.K. (2007). *Educating the Human Brain*.
- Rothbart, M.K. & Bates, J.E. (2006). Temperament. In N.Eisenberg, W.Damon, & R.M.Lerner (Eds.), *Handbook of child psychology*, Vol.3. (6th ed., pp99-166).

性別	月 齢	N	ITQ Mood		ITQ Approach		ITQ Adaptability		IBQ Effortful Control	
			平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD
男 児	5-8ヶ月齢	26	3.44	0.74	2.30	0.76	2.37	0.89	5.36	0.79
	9-12ヶ月齢	52	4.03	0.75	3.26	1.06	3.04	0.98	4.91	0.73
	13-17ヶ月齢	37	3.95	0.85	3.18	1.29	2.78	0.97	4.83	0.82
		115	3.87	0.81	3.02	1.14	2.80	0.98	4.98	0.80
女 児	5-8ヶ月齢	35	3.78	0.84	2.99	1.12	2.85	0.78	5.21	0.60
	9-12ヶ月齢	50	4.14	0.81	3.52	1.17	3.13	0.86	5.04	0.63
	13-17ヶ月齢	49	3.90	0.78	3.50	1.37	2.90	1.09	5.05	0.64
		134	3.96	0.82	3.37	1.25	2.97	0.93	5.09	0.62